

気候情報

2006年9月の日本の天候

降水量少ない（北日本、東・西日本太平洋側）

日照時間多い（北日本中心）

9月の天気概況

低気圧や前線、台風の影響の大きかった南西諸島では曇りや雨の日が多く、一部で降水量が平年を上回ったが、全国的に平年を下回る所が多く、北日本、東日本太平洋側、西日本太平洋側では少雨となった。

日照時間も、南西諸島で少なく、そのほかの地方では平年を上回り、北日本や東日本日本海側、西日本太平洋側で多かった。

気温は、短い周期で平年を上回る時期、下回る時期を繰り返した。月平均気温は、晴れる日が多かった北海道で高かったほかは全国的に平年並だった。

16～17日にかけて、台風第13号が南西諸島を通過し九州に上陸し、南西諸島で記録的な暴風となったのをはじめ、南西諸島と西日本を中心に各地で暴風と大雨による被害が、また、宮崎県では竜巻による被害が発生した。

上旬：前半は移動性高気圧におおわれ晴れる所が多かった。高気圧はやや北を通ったため、南西諸島や西日本の一部では曇りや雨となった。旬半ばには寒冷前線が南下したことや低気圧がゆっくりと通過したことから東日本から西日本にかけて雨となった。南西諸島では、大気の状態が不安定で雨となったほか、旬末には前線の影響で雨となるなど、曇りや雨の日が多かった。**旬平均気温**は、北日本、南西諸島で高く、東日本、西日本では平年並だった。**旬降水量**は、東日本日本海側、西日本太平洋側、南西諸島で多く、北日本太平洋側では少なく、北日本日本海側、東日本太平洋側、西日本日本海側では平年並だった。**旬間日照時間**は、北日本日本海側、東日本太平洋側で多く、西日本、南西諸島では少なく、北日本太平洋側では平年並だった。

中旬：前線が本州南岸に停滞し、全国的に曇りの日が多かった。台風第13号は16日に南西諸島を通過、東シナ海を北上し、17日には長崎県に上陸、九州北部を通過して日本海を北東進し、20日には北海道に再上陸した。このため、南西諸島や西日本では暴風雨となり、北日本でも太平洋側を中心に大雨となった所があった。台風通過後は、東・西日本を中心に高気圧に覆われ晴天となった。**旬平均気温**は、北日本では平年を上回り、東日本以西では平年を下回ったが、全国的に平年並だった。**旬降水量**は、北・東日本日本海側で少なく、西日本日本海側、南西諸島で多く、北・東日本太平洋側では平年並だった。**旬間日照時間**は、北日本で平年並であったほかは少なく、特に、西日本日本海側、南西諸島ではかなり少なかった。

下旬：高気圧におおわれ、全国的に晴れる日が多かった。26、27日には東・北日本の太平洋岸を通過した低気圧にともない、東・北日本で雨となった。その後再び高気圧におおわれ晴れた。**旬平均気温**は全国平年並だった。**旬降水量**は、北日本太平洋側で平年並となったが、そのほかの地方では少なく、特に西日本、南西諸島ではかなり少なかった。**旬間日照時間**は、全国的に多く、北日本、東日本日本海側、西日本ではかなり多かった。

9月の気候統計

月平均気温：北海道地方では高く、平年を1℃以上上回ったところがあった。一方、東北地方から南西諸島にかけては平年並だった。

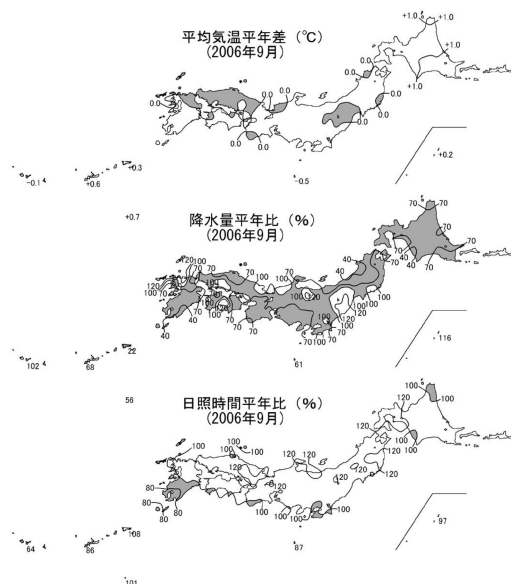
月降水量：北日本、東日本太平洋側、および西日本太平洋側では少なかった。特に、九州南部地方ではかなり少なく、宮崎、種子島（鹿児島県）、名瀬（鹿児島県）では平年の30%未満となった。一方、沖縄地方では多く、東日本日本海側と西日本日本海側では平年並だった。

月間日照時間：北日本、東日本日本海側、および西日本太平洋側では多かった。一方、南西諸島ではかなり少なかった。東日本太平洋側、西日本日本海側では平年並だった。（気象庁観測部統計室）

9月の記録（1位更新のみ）

- ・月間日照時間多い方から（時間）
江差 212.0
- ・月間日照時間少ない方から（時間）
石垣島 130.3

2006年9月の平年差（比）図



注) 陰影の部分は、平年より低い（少ない）地域を示す。